

指定管理者定期モニタリングの実施結果の公表について

◎令和7年度定期モニタリングの実施結果

No.	施設名称	I 市民サービスの提供	II 事業展開等	III 施設の適正な管理	IV 総合評価	コメント（要旨）	担当部署
1	市民活動センター	B	C	B	B	会議室等の稼働率は、全体として前年度の実績をやや下回ったが、課題となっていた和室や料理室の稼働率については多少改善が見られた部分もあったため、各施設の使用方法的PRに努めるとともに、ホールの予約に空きがある場合の周知にも取り組み、積極的な活用に繋げてもらいたい。光熱水費については、夏場の気温上昇や基本料金の値上がり、また選挙会場として利用されたことに伴い、来館者の手洗い場利用による使用水量の増加の影響を受けて経費増となったため、指定管理料の増額補正を行った。今後もこまめな温度調整を継続するとともに、気温上昇や電気の基本料金の改定、突発的な利用者増加を考慮した対応が求められる。市民活動支援に関しては、前年度より来館者数及び登録団体数が増加したこともあり、協働コーディネートの実施件数が増加し、中間支援組織としてのマッチング機能を発揮した。また、青少年向けのイベントや交流会、ソーシャルビジネスに係る各種支援についても、参加者の意見を踏まえ改良が加えられていることが確認できる。今後も、多様な主体が協働しやすい環境整備を進め、市民活動センター「プラッツ」が地域のプラットフォームとして機能するよう努め、利用者の増加や継続的な市民活動への参加に繋げることを期待する。	市民協働推進部 協働共創推進課
2	府中駅南口市営駐車場	B	B	B	A	電気料、資材価格の高騰が続く厳しい状況のなか、経費削減を行いながら、施設の安全性及び利便性向上に努めるなど、総合的に見て適正な管理運営を行っていた。駐車料金収入についても引き続き前年度を超え、過去最高額を更新している。 今後も引き続き、適正な管理運営を行いながら、施設の安全性の確保及び利便性向上に努め、より多くの利用者の獲得を目指してもらいたい。	生活環境部 地域安全対策課
3	府中駅南自転車駐車場	B	B	B	A	適切に施設の管理・運営を行っている。利用者の満足度も高く、安定した経営が行われている。またご意見箱の設置、利用者アンケートを実施し、利用者の満足度向上を図っている。次年度については、利用者数の増加及び満足度の向上に向け、一層の適切な管理・運営を行ってもらいたい。	
4	市民会館	B	B	A	A	利用料金収入及び稼働率が前年度を下回ったものの、令和6年度は、府中の森芸術劇場の改修工事のための休館により市民会館の利用者が増加したと想定されることを踏まえ、令和5年度と比較すると同水準である。施設運営については、利用申込、貸館、備品管理、窓口対応等を適切に実施するとともに、チラシラック・ポスター掲示板の配置見直し、ホームページ更新、SNS活用等により情報発信の強化にも取り組んでいる。施設の維持管理については、PFI事業者間で連携し、備品更新、設備点検、清掃・警備、再委託手続等を適切に実施しており、利用者の安全確保及び施設環境の維持に努めている。一方、人件費上昇等により収支は厳しい状況にあるため、今後は利用促進に向けた広報、空室状況の発信、備品・利用ルールの改善等を通じ、収支改善と利用者満足度の向上に継続して取り組むことを期待する。	文化スポーツ部 文化生涯学習課
5	府中の森芸術劇場	B	A	B	A	令和7年5月にリニューアルオープンを迎え、多くの方に劇場に戻ってきていただくことができ、3ホール平均の稼働率は81.7%となり、改修工事前（令和5年度）の3ホール平均の稼働率を上回ることができた。 また、ホームページ、SNS、メールマガジン及び有料広告を活用した情報発信に加え、市場動向や利用者ニーズを踏まえた事業の見直しを進めるなど、利用者増加に向けた取組が積極的に行われている。施設管理面では、防災体験コンサートの実施に加え、他施設の訓練事例も参考にしながら災害対応能力の向上に取り組んでいる。	

No.	施設名称	I 市民サービスの提供	II 事業展開等	III 施設の適正な管理	IV 総合評価	コメント（要旨）	担当部署
6	府中の森芸術劇場分館	B	B	B	A	府中の森芸術劇場の改修工事が終了したことに伴い、当該施設の練習室利用者が戻ったことなどから、稼働率は前年度よりやや減少した。しかし、SNS等を活用して施設案内や空き情報を発信するなど、利用促進に努めている。 また、施設や設備についても、定期的な点検を行うとともに、利用者からの意見を踏まえて楽器の修理を行っているほか、危機管理マニュアルの整備や訓練の実施に加え、緊急通報システムや監視カメラを増設することで、利用者の安全対策の強化を図っている。今後も、安全かつ快適に利用できる施設であり続けられるよう、適切な管理や運営に努めてもらいたい。	文化スポーツ部 文化生涯学習課
7	生涯学習センター	B	B	B	A	施設全体の利用者数が前年度比で104%となり、約1.4万人の増加となった。施設別に見ると、体育施設は前年度比106%と増加した一方で、学習施設は前年度比91.8%と減少する結果となった。体育施設においては、トレーニング室でのスタンプカードの継続実施や、ジュニアスイミング（自主事業）の支払いにクレジットカード決済を導入したこと、欠席連絡をWeb上で可能とする等、利用者の利便性向上を図ったことが利用者数の増加につながっていると思われる。学習施設においては、講堂講座で多くの集客に結び付いた講座が複数あった一方で、受講人数が定員の3割以下の講座も見られたことから、講堂講座に限らず、新規受講者をいかに取り込むか、より魅力ある講座とするための内容の工夫や広報の仕方を検討し、利用者数の増加に努めてもらいたい。 また、年2回実施している防災訓練では、欠席をした職員にも後日個別にフォローアップを実施していることや、体育棟スタッフに対しては、毎日出勤時にCPR訓練を義務付ける等、利用者の安全確保に対する高い意識がうかがえる。 施設の維持管理に関しては、設備の老朽化が進んでいることから、不具合箇所が多く出ているが、迅速な対応と、日々の点検を滞りなく行っていることもあり、施設の運営に直結するような重大な不具合は起きていない。引き続き、利用者の安全を最優先に、設備機器の適切な管理と機能の維持に努めてもらいたい。	文化スポーツ部 文化生涯学習課
8	郷土の森博物館	B	A	B	A	府中市郷土の森博物館は、約14ヘクタールの広大な敷地を活かし、府中の歴史・文化・自然を総合的に学び、体験できるフィールドミュージアムとして、市民に親しまれている施設である。改修工事を終え、3年ぶりの通年開館となり、展示会、あじさいまつり・曼珠沙華まつり・梅まつり、体験学習事業、プラネタリウム番組の投映など各種事業を計画的に実施した。その結果、年間379,168人という過去最高の入場者数を記録した。これは、園内展示、展示会及びプラネタリウム事業における長年にわたる継続的な取組と、それぞれの事業が相乗的に効果を発揮したことによるものと考えられる。 また、展示会、講座、体験学習事業及びプラネタリウム事業についても年間を通じて計画的に実施され、博物館の教育普及機能が十分に発揮された。特に、あじさいまつり及び曼珠沙華まつりは過去最高の入場者数を記録したほか、プラネタリウム事業においても観覧者数が大きく伸びるなど、利用促進に向けた取組の成果が見られた。さらには、SNS広告の活用やNEC府中事業所との連携による展示、市内団体との協働事業など、新たな利用者層の獲得や地域との連携強化に向けた取組も積極的に行われた。 施設管理面では、本館や園内施設について日常点検及び保守管理が適切に実施されており、利用者の安全確保と快適な利用環境の維持に努めている。一方で、復元建物をはじめとする園内施設及び設備の老朽化は引き続き課題となっており、指定管理者との連携を密に取りながら計画的かつ適切な修繕を実施し、施設の長寿命化を図っていく必要がある。 今後は、施設の適切な維持管理に加え、学校教育との連携をさらに深め、学習利用の促進を図ることが求められる。また、多様化する利用者ニーズを踏まえながら、博物館資源を活用した魅力ある事業を継続的に展開し、地域の文化・教育拠点としての役割を一層高めていくことを期待したい。	文化スポーツ部 ふるさと文化財課

No.	施設名称	I 市民サービスの提供	II 事業展開等	III 施設の適正な管理	IV 総合評価	コメント（要旨）	担当部署
9	市立ふれあい会館	B	B	B	A	各項目について評価した結果、特段指摘する事項はなく、適切に対応されている。利用者からも苦情等はなく、今後も利用者にとって使いやすい施設となるように管理運営に努めてもらいたい。	福祉保健部 地域福祉推進課
10	市立介護予防推進センター	B	B	B	A	施設の管理運営について、基本協定に基づき適切に行われており、元気で明るい接遇により施設全体に活気ある雰囲気を与えている。 施設の外壁改修工事の期間中は、建物内の他施設（保育園）とも連携して対応し、大きな混乱や事故なく事業を継続することができた。 1 1月の介護予防強化月間には、「長いきいき★フェスタ」を開催し、広く介護予防の普及啓発につなげるなど、市の介護予防の拠点施設として十分に機能している。 今後、本市において後期高齢者人口の増加が見込まれる中、介護予防推進センターの果たす役割はますます重要となる。引き続き、施設内事業に加え、地域へ出向く取組や多世代への普及啓発を通じて、新たな利用者層の開拓を図りながら、効果的かつ充実した介護予防事業が展開されることを期待する。	福祉保健部 高齢者支援課
11	市立特別養護老人ホーム よつや苑	A	B	B	A	市立の特別養護老人ホームとしての社会的役割を担い、積極的に困難ケースを受入れながら施設運営に当たっている。また、協力医療機関との緊密な連携などによって、前年度と比較し、利用者の入院期間が大幅に短縮されたことから、結果として空床期間の短縮による稼働率の向上に繋がっている。加えて、職員教育にも継続的に取り組んでおり、年間計画に基づく研修を実施することで職員間のスキル水準の平準化を図り、質の高いサービス提供に努めている。さらに、現場のチームごとの超過勤務時間の可視化や業務の効率化等の取組を進めたことなどにより、超過勤務時間の削減を実現している。今後も、地域の拠点施設としての役割を果たし、市民が安心してサービスを利用できるよう、さらなるサービスの向上を期待する。	福祉保健部 介護保険課
12	市立特別養護老人ホーム あさひ苑	A	B	B	A	府中市・三鷹市・調布市の三市で運営する特別養護老人ホームとして、積極的に困難ケースを受入れながら、施設運営に当たっている。また、I C T機器の活用により、入所者の睡眠状態を把握し、質の高いサービス提供に繋げているほか、より正確で効率的な介護記録業務の実現に向けた取組を行っている。また、協力医療機関との緊密な連携により入所者の急変時対応や早期の医療的ケアを可能にしている。さらには、近年の物価高騰に対して食材の見直し等の工夫によって経費削減に取り組みつつ、ひな祭り等の行事にあわせた食事を提供するなど、利用者が楽しめる生活環境を提供している。今後も、地域に開かれた施設として、市民が安心してサービスを利用できるよう、さらなるサービスの向上を期待する。	
13	市立よつや苑高齢者 在宅サービスセンター	A	B	B	A	公の施設として、利用者一人ひとりの状況に応じたサービスの提供や、多様な機能訓練の実施に取り組んでおり、利用者から高い評価を得ている。また、職員間の活発なコミュニケーションを通じて、施設の理念や価値観が共有されており、心理的安全性の高い組織風土が定着していることが、利用者支援の質の向上につながっている。加えて、職員教育にも継続的に取り組んでおり、年間計画に基づく研修を実施することで職員間のスキル水準の平準化を図り、質の高いサービス提供に努めている。さらに、現場のチームごとの超過勤務時間の可視化や業務の効率化等の取組を進めたことなどにより、超過勤務時間の削減を実現している。今後も、利用者満足度の更なる向上を図るとともに、地域における福祉拠点として、安定的かつ継続的な運営が行われることを期待する。	
14	市立あさひ苑高齢者 在宅サービスセンター	A	B	B	A	利用者の意思を尊重し、各自が自身の過ごし方を自分で選択できる支援を目指して介護サービスを提供している。レクリエーションや趣味活動に機能訓練の要素を取り入れた多彩な活動は、個人の好みにあった楽しみ方を可能にし、利用者から高い満足度を得ている。また、デイサービスでは利用者への食の支援として「持ち帰り弁当」を利用いただくことにより、一人暮らしや高齢世帯等の在宅生活を支える取組も行っている。このほか、感染予防対策を徹底しながら季節の行事等を開催することで、地域との交流の機会を増やし、公の施設として地域に開けた施設運営に励んでいる。今後も利用者の満足度向上と安定した運営を期待する。	

No.	施設名称	I 市民サービスの提供	II 事業展開等	III 施設の適正な管理	IV 総合評価	コメント（要旨）	担当部署
15	市立心身障害者福祉センター	B	B	B	A	事業運営について、サービスの質を下げることなく他で受入れ困難な重度障害者をはじめ様々な利用者のニーズに対応できる施設として、利用者の安全を確保するとともに利用者のための様々な事業を検討して実施していることが確認できた。 バスストップ形式による送迎に加えドア to ドア送迎の一部導入や、多摩川氾濫を想定した水害を含む災害時の避難訓練に取り組むなど、現状の課題を認識しながら検討を重ね、新しい取り組みの定着に努めている。 施設の老朽化が進むなかで、適切な保守管理及び修繕等の施設管理を行っているほか、省エネに向けた取り組みも確認できた。 その結果、利用者やその保護者はもとより、関係機関や近隣住民をはじめとする市民から市の障害者福祉施設の拠点として信頼され、良好な関係を維持していることが確認できた。 今後も適切な事業運営と施設管理の徹底を継続していただくとともに、更なるサービスの向上に努めてもらいたい。	福祉保健部 障害者福祉課
16	市立公園（68 か所）	B	B	B	A	維持・運営管理について、府中公園内に設置した管理事務所を拠点とし、適切に実施されているほか、市民からの問合せ等についても適切に対応している。 相談窓口の整備については、市民が問合せしやすい環境を整えるため、指定管理者ホームページを一部見直したほか、利用者意見の収集・活用するための新たな取組としてパークミーティングを実施するなど、利用者意見の反映に努めている。 自主事業についても、前年度よりもイベントの回数、参加人数、協力団体数が増加しており、参加者から高評価を得るなど順調な運営状況となっている。 今後も、維持・運営管理を適切に実施しながら、自主事業の充実を図り、更なる市民サービスの向上に努めてもらいたい。	都市整備部 公園緑地課

※定期モニタリング総合評価について

- (1) 各項目（Ⅰ～Ⅲ）配点基準 「A」…5点、「B」…4点、「C」…3点、「D」…1点
- (2) 総合評価は各項目評価の合計点数で決定します。「S」…14点以上、「A」…12点以上14点未満、「B」…9点以上12点未満、「C」…6点以上9点未満、「D」…5点以下